

## ●人口データ（令和5年9月末現在）

区 分	人 数	区 分	世帯・割合
人 口	862 人	世 帯 数	508 世帯
14歳以下	34 人	一人暮らしの高齢者世帯数	95 世帯
15～64歳	329 人	高齢者のみ世帯数	35 世帯
65歳以上	499 人	高 齢 化 率	57.9 %
(75歳以上)	( 270 人)	後期高齢化率(75歳以上)	31.3 %

## 住民アンケート・座談会より

西祖谷は豊かな自然をはじめ、祖谷溪、かずら橋、平家屋敷などの観光名所があり、また令和4年には、各地で伝承されてきた風流踊の一つとして西祖谷の神代踊がユネスコ無形文化遺産に登録されており、自然と文化に富んだ地域となっています。

その一方で、人口減少、少子高齢化が進み、過疎問題、各団体の担い手や後継者不足などの課題があり、また地域の小中学校においても相次いで休校となり、令和6年度には櫛生小学校のみの運営が予定されており、地域の子供たちの減少に拍車がかかることが懸念されます。

防災に関しては、災害時に行政が作成しているハザードマップなどで緊急時の避難場所を指定されていますが、避難場所が分からない、避難所まで行く手段が無い、移動する方が危険、また防災に関する知識が足りていない、などの意見があり、改めて防災に対しての見直しと情報の共有が必要となっています。

多くの課題はありますが、住民アンケートでは、地域の福祉活動の参加率が高く、地域の美化活動や地域行事への参加、地域の見守りや声掛け活動を積極的に行っており、助け合い・支え合いができていたことが窺えました。

これらの各地区の座談会での意見、住民アンケート結果、第三次地域福祉活動計画での取り組みの成果や課題を踏まえたうえで、地域の力を強化できるよう第四次地域福祉活動計画を策定いたしました。

## 今後の方向性

過疎化や少子高齢化の進行に伴い、今後はより一層、地域社会への、適切かつ効果的で効果的な支援が重要となっております。

西祖谷においても多くの方が地域の活動やイベント、サロン活動などの参加を行い、支援が必要な人に対しても、早期に発見してスムーズな支援に繋げていくなどの環境構築が必要になってきます。

地域のニーズや課題、地域資源、防災に関する様々なことを地域住民で情報共有し、地域の繋がりを強くしていくことが必要です。

<b>重点事業 1</b>	<b>地域の絆を深める</b>
---------------	-----------------

- |             |   |
|-------------|---|
| 地域での課題      | <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 行事等への参加者が固定している</li> <li>▼ 世代間交流や後継者(活動の支え手)の育成が必要である</li> <li>▼ 移動手段の確保が難しく1カ所に集まることが困難である</li> </ul> |
| 課題解決に向けての目標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地区住協や地区住協活動を知ってもらい、参加してもらうきっかけを作る</li> <li>○ 隣近所での交流の場の充実や移動手段の検討を進める</li> </ul>                       |



取組項目	内容
広報活動の充実	地区住協連合会・各地区住協の活動を広報し、参加や協力が得やすい環境づくりを進める(広報紙配付等)。
世代間交流の推進	学校行事や夏祭り等、多世代が集まる機会へ積極的に参加し、世代間交流を図る。
集まる場の増加・拡充	小規模で集まる場を設置していく。
移動手段の検討	行事参加者に対する組織的な送迎方法や効率的なタクシー等の利用方法を検討する。

<b>重点事業 2</b>	<b>援助が必要な人に支援を届ける</b>
---------------	-----------------------

- |             |  |
|-------------|--|
| 地域での課題      | <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 認知機能低下が疑われる独居の方が多くなっている</li> <li>▼ 移動や買い物が困難な人がいる</li> </ul>        |
| 課題解決に向けての目標 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報共有できる場を設け、要援助者を見落とさないようにする</li> <li>○ 移動や買い物支援の方法を検討する</li> </ul> |



取組項目	内容
要援助者の情報共有	見守りマップの定期的な見直し・更新を行い、情報を共有する。
見守り・支援活動の充実化	集落支援員、民生委員、各種団体が情報共有できる場を設け、見守り・支援活動を行う。 訪問時に相手の話をよく聞き、理解することで、要援助者を見落とさないようにする。
移動手段・買い物支援の検討	ニーズを把握し、持続可能で多様な移動手段・買い物支援を検討する。

### 重点事業 3

### 安全で安心豊かなまちづくり

地域での課題

- ▼ 災害時の知識・備えが十分ではない
- ▼ 情報共有が十分でない

課題解決に向けての目標

- 防災訓練等を通じて、地域住民への啓発をする
- 各家庭・個人での災害時の備えを充実させる
- 防災・防犯・消費者生活ついでの情報発信をする



取組項目	内容
防災訓練・研修会等の開催	防災訓練等を通じ、住民への防災意識の向上を図る。
一時避難所・避難経路の確認	指定避難所までの距離がある世帯は、近くで安全な一時避難場所の確認と避難経路の確認をする。
各家庭への災害の備えの確認・情報提供・発信	非常持出袋や非常食の備蓄への啓発を図る。広報や研修会等で防災・防犯の情報提供を行う。
要援助者への不安解消	心配事がある際に誰に連絡するのかを事前に確認しておく。広報等で適切な情報発信をする。



西祖谷小中学校合同防災訓練